

まんのう町高齢者福祉計画及び第 10 期介護保険事業計画策定委員会（第 1 回）議事録

開催日時：令和 8 年 6 月 1 8 日（木）14:30～15:20

会 場：まんのう町役場 3 階大会議室

出席委員：長森委員長、松下副委員長、大山（康）委員、大倉委員、中藤委員、篠原委員、
川口委員、白川委員、真鍋委員、大西（徹）委員、三好委員、細原委員、鈴木委員、
横関委員、大山（保）委員、大西（樹）委員、黒木委員、溝淵委員

事 務 局：山本、大西、栗田、真鍋、浅尾、末久、岡坂

コンサル：渡邊、百々

■次第

1. 開会

2. 議事

- （1）高齢者福祉計画・第 10 期介護保険事業計画の位置づけ及びスケジュールについて
- （2）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告について
- （3）在宅介護実態調査結果報告について
- （4）その他

3. 閉会

1. 開会

2. 議事

(1) 高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画の位置づけ及びスケジュールについて

(コンサルより説明)

委員長：何か質問等ありませんか。

委員：P3 介護サービスの計画的な整備について、地域の実績に応じたサービス提供は可能なのでしょうか。

事務局：人口推計等を踏まえながら、必要な体制やサービスの確保を行います。

委員：人口減少や高齢化が進むなか、町民が地域による隔たりなくサービスを受けられるのでしょうか。

事務局：委員の皆様から広くご意見をいただきながら検討してまいります。

委員：介護人材確保について、行政による支援はあるのでしょうか。

事務局：情報共有を行うとともに、町として可能な支援策について検討を進めてまいります。

(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告について

(3) 在宅介護実態調査結果報告について

(コンサルより説明)

委員長：何か質問等ありませんか。

委員：前回調査と比較して改善がみられた項目について、「改善された」と記載されていますが、統計的に有意な差があるのでしょうか。また、前回との比較のみ評価することに意味があるのでしょうか。記載方法を見直した方がよいのではないのでしょうか。

事務局：これまで実施してきた施策の評価として、改善がみられた項目については一定の評価を行うべきと考えます。そのため、前回調査との比較結果として記載しています。

委員：無作為抽出の方法を教えてください。

事務局：担当者が不在のため、後日回答いたします。

委員：年齢区分ごとに抽出したのではないのでしょうか？

事務局：担当者が不在のため、後日回答いたします。

事務局：人口10万人以下の自治体においては、378件以上の回答が得られれば、調査結果として一定の信頼性が確保されと考えています。

委員：75歳以上の回答者の割合を高めた方が、より実態に即した施策立案につながるのではないのでしょうか。

事務局：年齢別および地域別のクロス集計を実施し、次回会議にて報告いたします。

委員：クロス集計による地区別分析は可能でしょうか。

事務局：可能です。

(4) その他

特になし

3. 閉会